

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和5年2月14日)

- 「鳥取港脱炭素化推進協議会」の開催について

【空港港湾課】……2ページ

- 枠予算(単県公共事業)の執行状況について

【技術企画課・河川課・治山砂防課・空港港湾課】……3ページ

- 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【道路建設課・治山砂防課】……5ページ

県土整備部

「鳥取港脱炭素化推進協議会」の開催について

令和5年2月14日
空港港湾課

2050年脱炭素社会の実現を目指し、海上物流拠点である鳥取港における脱炭素化の推進を目的とした「鳥取港脱炭素化推進計画」を策定するため、有識者、関係企業、関係団体、行政機関による「鳥取港脱炭素化推進協議会」での検討を始めたので、その概要を報告します。

今後、協議会において協議、連携、情報共有等を図りながら、鳥取港の特徴を踏まえた計画（案）のとりまとめを行います。

1 港湾における脱炭素化に向けた国の動き

令和3年6月以降、国土交通省港湾局がカーボンニュートラルポート（CNP）*の形成に向けた取組の加速化を図る各種方策に関する検討会を開催し、同年12月にCNP形成に向けた施策の方向性と計画策定マニュアルをまとめた。

令和4年12月の港湾法一部改正により、CNPの取組を推進するための環境整備等の措置が盛り込まれ、港湾における官民連携による脱炭素化の推進を図るための「港湾脱炭素化推進計画」の策定が規定された。

*カーボンニュートラルポート（CNP）とは、物流や人流の結節点・産業拠点となる港湾において、水素・燃料アンモニア等の次世代エネルギーの受入環境の整備や、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指す港湾をいう。

2 開催結果

- (1) 日時 令和5年1月30日（月） 午後1時30分から午後3時30分
- (2) 場所 鳥取県立生涯学習センター 5階 講義室
- (3) 構成員 下表のとおり（順不同）
- (4) 概要

「鳥取港脱炭素化推進協議会」（会長：公立鳥取環境大学 田島教授）を立上げ、脱炭素化に向けた国の動向を踏まえながら、鳥取港脱炭素化推進計画の策定に向けた今後の進め方などについて情報共有を行った。

- (5) 主な意見
 - ・港湾機能を維持するための航路浚渫を毎年実施しているが、港湾計画に基づいて航路切替が進めば浚渫船の稼働率が減少し、温室効果ガスの削減に寄与するのではないかと。
 - ・鳥取港の脱炭素化の取組は、水素や燃料アンモニアの受入環境整備よりも、オペレーションの電動化が考えられる。
 - ・鳥取市は環境基本計画を定め、再生可能エネルギーの利用や省エネの実現に向けたロードマップの策定に取り組んでおり、脱炭素化の取組がエリア外にも波及していくことを望んでいる。



第1回協議会の開催の様子（左：全体、右：会長挨拶）

区分	企業名等
有識者	公立鳥取環境大学
関係企業	日本興運株式会社鳥取支店
	日本通運株式会社山陰支店
	三洋製紙株式会社
	株式会社住若
	太平洋セメント株式会社
関係団体	日中東北物産有限公司
	一般社団法人鳥取県トラック協会 鳥取商工会議所
関係行政機関	国土交通省 中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所
	鳥取市
	環境省 中国四国地方環境事務所
オブザーバー	国土交通省 中国運輸局
	鳥取県 生活環境部

3 今後の進め方

関係企業等を対象としたアンケート調査や企業ヒアリングを実施し、温室効果ガス排出量等の推計を行い、将来の温室効果ガス削減目標及び削減計画の設定など、鳥取港脱炭素化推進計画の策定に向けて協議・検討を進める。

枠予算（単県公共事業）の執行状況について

令和5年2月14日

県土整備部

県の管理する土木施設等について、年度当初に想定していなかった突発的事態に迅速に対応し、必要な調査又は維持・修繕を実施するための枠予算を設定している。

令和4年度における当該枠予算の執行状況は、次のとおりである。

※百万円以下の工事はまとめて記載

※単位：千円

○事業化検討基礎調査費【現計予算：2,023千円 執行見込額：2,023千円】

技術企画課

地区名	事業箇所	執行見込額	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
現時点で未執行であるが、今後の突発的事項に対応するための予算として確保している。					

○河川維持修繕費（河川（海岸）緊急修繕費）【現計予算：25,000千円、執行見込額：25,000千円】

河川課

河川・海岸名	事業箇所	執行見込額	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
大井手川	鳥取市長谷	1,500	R4.8.18 ～ R5.2.28	立木伐採 一式	河川外民地側へ倒木のおそれがあったため 不用雑木撤去を実施
宇戸川	鳥取市河原町 佐貫	1,000	R4.8.18 ～ R5.2.28	管理道補修 一式	河川管理道が損傷し支障が生じたため管理 道の復旧を実施
山白川	鳥取市円通寺	1,500	R4.8.18 ～ R5.2.28	管理道補修 一式	河川管理道が損傷し支障が生じたため管理 道の復旧を実施
内海川	鳥取市白兔	1,000	R4.12.24 ～ R5.3.15	河床掘削 一式	冬季風浪により河口に土砂が堆積し、閉塞 したため掘削を実施
新興寺谷川	八頭町新興寺	1,500	R4.5.23 ～ R4.5.24	土砂撤去 一式	河道内に土砂が堆積し、排水路の吐け口が 閉塞されていたため土砂撤去を実施
来見野川	若桜町来見野	2,000	R4.11.21 ～ R4.12.14	護岸補修 一式	護岸の一部が破損したため補修を実施
西谷川	八頭町西谷	2,000	R5.1.6 ～ R5.3.24	土砂撤去 一式	法面が崩落し、河道内に土砂が堆積したた め、土砂撤去を実施
北条川	北栄町米里	1,430	R4.5.20 ～ R4.7.29	通信機器取替 一式	監視カメラ映像が配信されなくなったた め、出水期に備え、故障の原因であった通 信機器類の取替を実施
由良川	北栄町大島	1,000	R4.8.1 ～ R5.2.28	法面保護工 一式	堤防法面の土羽の一部が崩落しており、拡 大する危険性があったため、法面保護工を 施工実施
米子海岸 (富益地区)	米子市富益町	2,500	R4.10 ～ R4.11	立木伐採 一式	台風により浜が海岸侵食され、倒木の恐れ があったため伐採を実施
塩川	米子市淀江町 小波浜	1,500	R5.2 ～ R5.3	河口浚渫、養浜 一式	冬季風浪により河口に土砂が堆積し、閉塞 したため掘削を実施
加茂新川	米子市加茂	1,500	R5.2 ～ R5.3	河口浚渫、養浜 一式	冬季風浪により河口に土砂が堆積し、閉塞 したため掘削を実施
小計		18,430			
舎人川の修繕対応 ほか13件 6,570千円					

○砂防施設緊急修繕費【現計予算額：3,200千円 執行見込額：3,200千円】

治山砂防課

河川・海岸名	事業箇所	執行見込額	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
岩倉川	倉吉市岩倉	3,200	R4.11.22 ～ R5.2.27	測量設計 一式	昨冬、護岸崩落が発生し、応急対応により河積確保は行っているが、早期の護岸復旧が望まれることから測量設計を実施

○治山施設緊急修繕費【現計予算額：1,500千円 執行見込額：1,500千円】

治山砂防課

地区名	事業箇所	執行見込額	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
霞地区	日南町霞	1,500	R5.1.24 ～ R5.2.28	倒木撤去・処分 一式	斜面中腹の治山施設（落石防護柵）で、施設基礎部直下の立木が降雨により根返り倒伏し、放置すれば施設へ重大な影響を与えるため倒木撤去を実施

○漁港施設緊急維持修繕費【現計予算額：1,600千円 執行見込額：1,600千円】

空港港湾課

漁港名	事業箇所	執行見込額	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
網代漁港	岩美町網代	1,600	R4.5.18 ～ R5.1.31	照明灯修繕 一式	老朽化による故障のため消灯した照明灯があり、歩行者の通行に危険が伴うため照明灯修繕を実施

○港湾施設緊急維持修繕費【現計予算額：3,000千円 執行見込額：3,000千円】

空港港湾課

港湾名	事業箇所	執行見込額	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
鳥取港	鳥取市港町	2,500	R5.2.20 ～ R5.3.20	舗装工 A=150㎡ 排水構造物工 L=30m	千代地区の野積場で舗装や排水構造物が沈下し、貨物の保管や車両の通行に支障が生じているため復旧を実施
鳥取港西浜地区 転落防止柵修繕 500千円					

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

県土整備部

主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契約年月日	入札方式
治山砂防課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	赤松地区復旧治山工事 (その2)	西伯郡 大山町 赤松	株式会社所子建設 代表取締役 中川 郁夫	112,750,000円 (予定価格) 122,805,100円	令和5年1月30日 ～ 令和5年11月22日	令和5年1月27日	制限付 一般競争入札 (11社)

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
道路建設課	国道178号(岩美道路)改良工事(8工区)(補助)(国補正)	岩美郡 岩美町 牧谷	国道178号(岩美道路)改良工事(8工区)(補助)(国補正)やまこう・大和特定建設工事共同企業体 代表者 やまこう建設株式会社 代表取締役社長 岡田 幸一郎	(当初契約額) 290,180,000円	令和4年2月16日 ～ 令和4年11月30日	(当初契約年月日) 令和4年2月16日	—
				(第1回変更後契約額) 301,852,100円 (変更額) 11,672,100円	(変更後工期) 令和5年1月31日	(第1回変更契約年月日) 令和4年11月17日	他工事との調整により、盛土を追加施工したことによる工事費の増及び工期の延伸
				(第2回変更後契約額) 292,211,700円 (変更額) △9,640,400円		(第2回変更契約年月日) 令和5年1月25日	盛土使用材の一部を購入土から他工事発生土に変更したことによる工事費の減
道路建設課 (中部総合事務所 県土整備局)	町道立子大熊線(大山橋工区)橋梁上部工事(交付金代行)(国補正)	東伯郡 琴浦町 高岡	株式会社富士ピー・エス鳥取 営業所 所長 大村 康三郎	(当初契約額) 147,180,000円	令和4年7月11日 ～ 令和5年3月24日	(当初契約年月日) 令和4年7月11日	—
				(第1回変更後契約額) 154,036,300円 (変更額) 6,856,300円		(第1回変更契約年月日) 令和5年1月16日	週休2日モデル工事実施による追加経費の計上による工事費の増
道路建設課 (中部総合事務所 県土整備局)	県道倉吉由良線(和田～大谷茶屋工区)橋梁下部工事(7工区)(交付金改良)(国補正)	倉吉市 和田 ～ 大谷茶屋	株式会社共栄組 代表取締役 山崎 稔	(当初契約額) 122,760,000円	令和4年4月1日 ～ 令和5年1月18日	(当初契約年月日) 令和4年3月17日	—
					(変更後工期) 令和5年3月24日	(第1回変更契約年月日) 令和5年1月11日	地質調査の結果、支持層が当初想定より深く、杭長の変更及び橋台の設計照査等に不測の日数要したことによる工期の延伸

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
道路建設課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	県道大山口停車場大山線(平木～神原工区)改良工事(13工区)(防災安全交付金)(国補正)	西伯郡 大山町 神原	株式会社エイ・エイチ・エイ 代表取締役 幡原 淳	(当初契約額) 116,050,000円	令和4年5月31日 ～ 令和5年3月6日	(当初契約年月日) 令和4年3月24日	—
					(変更後工期) 令和4年4月25日 ～ 令和5年1月27日	(第1回変更契約年月日) 令和4年4月19日	本工事は余裕期間設定工事(任意着手方式)であり、受注者の意向により、工事開始日を前倒すことによる工期の変更
				(第2回変更後契約額) 131,707,400円 (変更額) 15,657,400円	(変更後工期) 令和5年3月15日	(第2回変更契約年月日) 令和5年1月17日	・擁壁基礎地盤が部分的に軟弱であり、地盤改良を実施すること等による工事費の増 ・上記地盤改良の実施による工期の延伸
道路建設課 (西部総合事務所 日野県土整備局)	国道181号江府道路俣野地区道路改良工事(7工区)(補助改良)(国補正)	日野郡 江府町 俣野	有限会社住田組 代表取締役 住田 孝昭	(当初契約額) 168,300,000円	令和4年8月1日 ～ 令和5年1月31日	(当初契約年月日) 令和4年3月29日	—
					(変更後工期) 令和4年6月1日 ～ 令和5年1月31日	(第1回変更契約年月日) 令和4年5月31日	本工事は余裕期間設定工事であり、受注者の意向で工事開始日を前倒しすることによる工期変更
					(変更後工期) 令和5年3月20日	(第2回変更契約年月日) 令和5年1月17日	トンネル掘削工事の進捗に合わせ、本工事の残土搬出時期を調整したことによる工期の延伸